

《研究課題名》

高齢者に対する両側内胸動脈を用いた冠動脈バイパス術

《研究対象者》

西暦 2002 年 1 月より 2020 年 12 月までに滋賀医科大学心臓血管外科において単独冠動脈バイパス術を施行された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》 高齢者に対する両側内胸動脈を用いた冠動脈バイパス術

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2023 年 12 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 心臓血管外科 鈴木友彰

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

予測余命の短い高齢者に対して、冠動脈バイパス術における臨床的なエビデンスは限られています。一般的に両側の内胸動脈を使用することは片側の内胸動脈を使用した場合に対しての生命予後改善効果が知られていますが、高齢者に対してははっきりしていません。今回の研究では高齢者に対して両側の内胸動脈を使用した群と片側の内胸動脈を使用した群に分けて術後成績を比較することで、高齢者に対する冠動脈バイパス術の術式の妥当性を評価します。

《目的》

高齢者に対して両側の内胸動脈を使用した群と片側の内胸動脈を使用した群に分けて術後の短期成績と長期成績を比較し、高齢者に対して両側の内胸動脈を使用したバイパスが有効であるかどうかを調べます。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

当院で管理している電子カルテから患者の~~術前の年齢・性別・BMI・高血圧の有無・脂質異常症の有無・糖尿病の有無・手術時間・術後の早期死亡・縦隔炎・脳梗塞・肺炎・遠隔死亡など情報~~を調べ、統

計学的処理を行います。

《利用する~~試料・~~情報の項目》

~~術前の年齢・性別・BMI・高血圧の有無・脂質異常症の有無・糖尿病の有無、手術時間、術後の早期死亡・縦隔炎・脳梗塞・肺炎・遠隔死亡~~

《情報の管理について責任を有する者》

心臓血管外科 鈴木友彰

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた~~試料・~~情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の~~試料・~~情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の~~試料・~~情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 心臓血管外科 鉢呂康平

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2244

メールアドレス：hqsurge2@belle.shiga-med.ac.jp